

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	地学概論(教)						
科目区分	教職科目	単位数	4	開講時期	2年次通年		
必修・選択の別	選択(教職必修科目)						
担当者	山田 伸之(非常勤)						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・原子サイズの現象から宇宙サイズの現象まで統一した視点で認識できる。 ・地球環境の変遷と生物進化を関連させて認識することができる。 ・応用科学であり、歴史科学的側面をもつ地学の学習方法を体得できる。 						
日程と内容	<p>通年集中講義 (以下、後期分)</p> <p>9月21日 第16回：前期の内容の振り返り</p> <p>9月21日 第17, 18回：地球の大気の大気と水蒸気</p> <p>9月21日 第19～20回：気象現象と天気</p> <p>11月30日 第21, 22回：地球の水</p> <p>11月30日 第23, 24回：地球の進化, 古生物</p> <p>11月30日 第25回：プレートテクトニクス</p> <p>12月7日 第26, 27回：火山活動と火山災害</p> <p>12月7日 第28, 29回：地震と地震災害</p> <p>12月7日 第30回：全体を通してのまとめ</p>						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業評価アンケートでは、特段のマイナスの評価はないため、ある程度は目標を達成できたと考えています。						
反省点	板書の文字等を丁寧に記すことを意識するとともに、内容の深遠化をはかり、難易度のアップと内容の濃いものにするのを検討したいと考えています。						
来年度の計画	少人数形式であるので、それを生かした講師から学生への一方的なものでなく、双方向の授業展開を考えたいです。 また、簡単な演示実験のようなものも検討したいです。						
授業評価アンケートに対するコメント	特にありません。						
履修登録者数	12名	定期試験 受験者数	12名	合格者数	12名	合格率	100%